

川西市北部地域のまちづくり方針策定に係るワークショップ実施報告書（概要版）

●ワークショップの目的

北部地域にお住まいの皆様が将来にわたり快適に過ごせるよう「北部地域のまちづくり方針」の策定過程で住民意見を反映することを目的とし、北部地域に点在する公共施設の跡地活用に主眼を置いて意見交換を行いました。これまで他部署で開催してきた市民対話や他のワークショップ等で出された意見も重要な要素として参加者と共有し、北部地域に望まれる機能（サービス）について使い手・使い方の視点で意見を頂戴しました。

●参加者数と年代

10代から80代までの合計62人にご参加いただき、年代別では30代・40代が最も多く、次いで70代の順でした。



●ワークショップの進め方

できるだけ多くの方にご参加いただくため、会場の場所、平日・休日、昼・夜のバランスなど、日時と参加人数を考慮し、同じ内容で全4回開催しました。

最初に、市から方針の考え方やエリアごとの機能プランを説明し、その根拠となるこれまでの市民対話やワークショップでの意見を共有しました。

その後、「子育て・教育」「遊び・広場・交流」「福祉・健康」の3つのテーマに分かれて話し合いを行い、自分自身や身近な人を想像して『あったらいいなと思うもの（サービス・機能・場所）』『その理由』『利用シーン（こんな風に利用したい）』といったアイデアをシートに記入してもらい、最後に『共感できるアイデア』にシールを貼り、参加者全体の意見を把握しました。

	日時	場所
①	7/23（日） 15:00-17:00	牧の台会館
②	7/26（水） 19:00-21:00	東谷公民館
③	7/29（土） 10:00-12:00	市民体育館
④	7/30（日） 10:00-12:00	北陵公民館



●ワークショップの分析結果

全4回のワークショップで合計233の意見が出されました。どの意見も、住まい手としての課題意識、使い手・使い方としての生きた想いが挙げられ、公共施設の跡地活用を進める上で多くのキーワードが含まれていました。また、出された意見には共通するものが多く、これらは北部地域に望まれる機能（サービス）を検討する上で特に要望の大きなものであることが読み取れました。主な意見は次のとおりです。

1. 出産から子育てまでの身近なケア

産婦人科などの医療施設をはじめ、発達相談窓口やヤングケアラーへの支援、子育て世帯が交流・情報交換できる場所など、子どもを安心して産み育てるための機能を求める意見のほか、仕事の斡旋や学童保育、休日・夜間対応の一時預かりなど、子育て中の親が働きやすい環境づくりを求める意見もありました。

2. 医療や生活相談の拠り所

夜間診療が可能な診療所や日帰りデイサービスなど、緊急時に対応できる医療施設や高齢者施設を求める意見のほか、オンラインを含めた生活総合相談窓口など、地域の拠り所となる機能を求める意見もありました。

3. 多世代における学びや交流の機会

多世代交流拠点や生涯学習の場、児童館のほか、特に図書館やフリースクールについては全てのテーマで意見が出ました。また、「顔が見える」や「ふと立ち寄りたくなる」といったキーワードに加え、様々な用途に使える多目的ホールを求める意見、子ども食堂やカフェなど飲食機能を求める意見も多く出されました。

4. 健康や福祉、レクリエーションの場

スポーツジム・プールといったスポーツ施設やドッグラン・スケートボードが楽しめるレクリエーション施設を求める意見のほか、多世代の人がくつろげる芝生広場や散歩・ボール遊びができる大きな公園を求める意見も多く出されました。

5. その他

防災拠点の整備やオンデマンドバス、総合医療センターへの直通バスを求める意見のほか、中学校への通学費、タクシー乗り場の整備を求める意見もありました。